

ジエトロ口と中央畜産会がニューヨークで和牛プロモーション



ジエトロ口と中央畜産会は10月28日、米国・ニューヨークの404NYCセミナー会場で和牛のプロモーションを行った。プロモーションは、最近海外で人気を博している日本酒と和牛とのペアリングで行われ、「日本酒・和牛プロ向け普及セミナー」とネットワーキング」と銘打って実施された。このプロモーション事業は輸出拡大及び日本食・食文化発信緊急対策事業の一環で行われ、スターゼンミートプロセッサ、ミートコンパニオン、日本ハム、伊藤ハム、全農などを含む食肉事業者12の委員で構成。会場にはプレス33%、レストラン19%、リテール・ストアー8%、インポーター・ディストリビューター5%などから800人が招待客として詰めかけ、マスコミからも多くの注目を集めていた。プロ向け普及セミナーでは全農畜産総合対策部山口瑤介氏がオリエンテーションを行い、ミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役が和牛のサーロインステーキのカuttingデモンストレーション。

セミナー聴衆者にはA5等級のサーロインを展示試食に供し、脂肪について違和感を持たれることが懸念されたが、そのようなことは全くなくて芸術的なマーブリングで、食感メルティで風味があつて美味しいと好感を得ていた。その他の質問では「飼料」や「と畜前のストレス解消」「牛へのマッサージ効果」「生体重」などの質問があがっていた。セミナー後に米国内の和牛の実態調査の結果、米国产、チリ産、ニュージーランド産、カナダ産と米国内でのグラスフェッドの和牛が存在し流通していることも判明した。

淡路ビーフ新谷が名誉賞牛を500万円で落札―兵庫県畜産共進会

J A全農兵庫は10月31日、農林水産祭参加第95回兵庫県畜産共進会を兵庫県南あわじ市の淡路ファームパークイングランドの丘で開催した。生体審査の結果、出品牛のうち黒毛和種種牛の部(雌42頭)の名誉賞には淡路市の雨谷薫さん出品の雌牛が、肉牛の部(雌18頭、去勢46頭)では西脇市の飛田佐代子さん出品の去勢牛が選出された。その後の臨時生体せりで、飛田さん出品牛は500万2千円の高値で淡路ビーフ新谷に落札された。団体優勝は種牛の部ではJ A淡路日の出が、肉牛の部ではJ Aみのりが選ばれた。また、畜産特別功労者として、先般亡くなった神戸中央畜産荷受(株)玉野井進社長が表彰を受けた。そのほかの主な入賞牛の出品者は次のとおり。

【種牛の部】 最優秀賞1席 上田伸也(美方群)▽同2席 中村文吾(同)▽同3席 村尾和広(同)▽同4席 仲岡建太郎(南あわじ市)

【肉牛の部】 最優秀賞1席 田中久工(篠山市、購買金額360万1千円、購買者J A丹波ささやま味土里館)▽同2席 上田伸也(美方群、250万5千円、江戸匠苑)▽同3席 山崎純子(西脇市、200万9千円、淡路ビーフ新谷)▽同4席 太田克典(養父市、300万1千円、太田家)▽同5席 藤江佳司(南あわじ市、200万1千円、神戸中央畜産荷受)